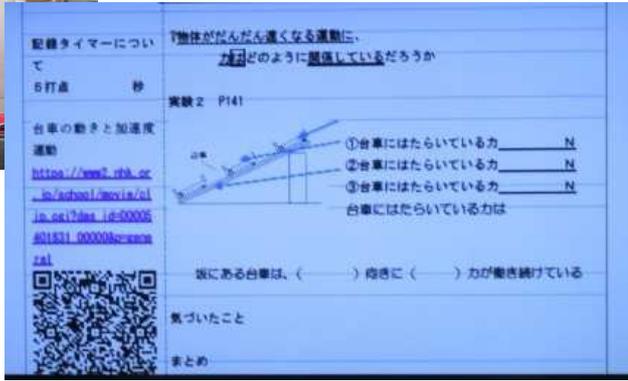


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

視覚的に学習課題を把握するための ICT 活用 「大型モニターを使用した学習課題の提示」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・中学部3年
	障がい名等	聴覚障がい
	子どもの実態 (学习上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> 補聴器を装着しているが音声は聞き取りにくく、主たるコミュニケーション手段は手話である。 視覚的に理解した事象を、結果として文章等にまとめることが苦手であり、支援を要する。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	理科
	単元(題材)名	単元名「運動とエネルギー 物体の運動」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> 力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギーについての観察、実験などを通して理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	<p>大型モニターを使用した学習課題の提示</p>  
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 視覚的に学習課題を把握することができるようにする。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大型展示装置を使用し、文を読んだり、図を確認したりしながら学習課題を把握することができるようにした。 ・ 教科書やワーク等の図から必要な内容を1つのスライドに集約して提示した。 ・ 過去に自分が行った実験の動画を付け、繰り返し参照できるようにした。
	材料・作成方法等	タブレット端末、Microsoft アプリ (Teams、PowerPoint 等)
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時に行う学習内容をスライドの内容を手掛かりに理解し実験を行うことができた。 ・ 実験動画を振り返り、現象について考察する様子が見られた。 	